

# コンパクトを革新せよ。

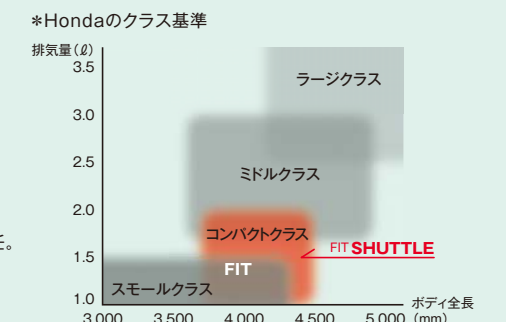
いま、コンパクトカーがあらためて注目されているように感じます。  
事実、実用性や環境性能を重視する人が増え、  
クルマもより機能的に、より低燃費に進化してきました。  
しかし私たちは、暮らしに便利な手軽さや合理性だけがコンパクトカーの要件だとは考えません。  
コンパクトカーであっても、暮らしを豊かに広げるクルマを創りたい。  
身近な存在だけど使うたびに満足できる、いわば上手に贅沢できるクルマを届けたい。  
そんな思いから、今回私たちは「コンパクトカーの革新」にチャレンジしました。  
Hondaがスモールクラス\*で飛躍的に進化させてきた「フィット」の思想と技術を、  
コンパクトクラス\*に投入。扱いやすいボディサイズでありながら  
従来の常識を超える広さ、使いやすさ、経済性、さらには見て触れる質感や移動の快適性といった  
価値を満たした、新しいスタイルのコンパクトカーを完成させました。  
私たちHondaの自信作、「フィット シャトル」。  
いまの時代に、これからの時代に、積極的に選んでいただける一台であると確信しています。

開発責任者 人見康平



人見 康平 (ひとみ こうへい)  
(株)本田技術研究所 主任研究員

1984年、(株)本田技術研究所入社。  
ドア、外装まわり設計を経て、  
1999年アクティ/バモスのボディ・外装PL、  
2002年ザッツのLPL代行、  
2004年エリシオンのLPL代行を担当。  
2007年フィットのLPLを務め、  
2010年フィットMMC/フィット ハイブリッドのLPLを歴任。  
今回、引き続きフィット シャトルのLPLを務める。  
趣味はドライブ、旅行。  
愛車はフィット(07年モデル)2台、S800。



## Contents

開発にあたって	2	パッケージング	7	エクステリアデザイン	15	福祉車両	21
コンセプト	3	ユーティリティ	9	インテリアデザイン	17	安全性能	22
テクノロジーダイジェスト	5	パワーtrain	11	シャシー/ボディ	19	環境性能	22
Hondaのハイブリッドカー展開	5	インターナビ	14	快適装備	21	装備・諸元	23